



全国生活研究グループ連絡協議会H27九州・沖縄ブロック会長会議の開催

2015/9/28・29

平成27年9月28・29日、日田市の亀山亭ホテルにて全国生活研究グループ連絡協議会（以下、「全国生研G」という。）H27九州・沖縄ブロック会長会議を開催しました。福岡県と鹿児島県の会長に加え、大分県からは当会の会員13名が出席しました。開催県である当会の渡辺副会長から挨拶後、自己紹介を行い協議へ。まず全国生研Gの理事を務める鹿児島県の澤田会長から全国生活研究Gにおける重点課題の取組、全国会議茨城大会の開催状況、石川県や佐賀県の脱会や事業費の減少など運営課題の報告をいただきました。その後、各県の事務局体制、28年度以降の総会・研修の持ち方や「農山漁村女性の日」への参画、また各県の活動状況について情報交換を行いました。

研修では「地域で頑張る女性～女性の社会参画～」をテーマに、日田市の武石辰子さんから生活研究グループや起業活動の取組を紹介。また「仲間ができてグループ活動を通じて成長してきた。私たちは“がむしゃら”だった。若い方には、思いついたら、一歩踏み出してほしい。」とのメッセージもいただきました。その後、農山漁村における男女共同参画の現状と若い世代の社会参画には何が重要かを話し合いました。「昔と比べて男女共同参画が進んだと実感するのは家庭」、「若い世代の社会参画を促すには、いかに外へ押し出していくかが重要で、家庭からの環境づくりが大切」との意見がでました。

1日目



事例発表を行う武石辰子さん



夜の交流会では屋形船に乗船

2日目



(農)畦道グループ食品組合

11種類のかりんとう



できたてのお豆腐



かあちゃんの元気茶屋『一番列車』



企業組合ももは工房

2日目の現地研修では、まず、かりんとう作り33年の(農)畦道グループ食品加工組合へ。家庭のおやつであった“かりんとう”を試行錯誤して商品化。今では11種類の味が楽しめます。続いて、JR天瀬駅前の空き店舗事業を活用した“かあちゃんの元気茶屋『一番列車』(直売と農家レストラン)”を視察。農家のかあちゃん7名で運営し、メンバーやお客様とのふれあいを大事にしながら、笑顔を大切にふるさと料理を提供したり農産物や加工品を販売しています。最後は、(農)大肥郷ふるさと農業振興会の一員で女性5名で立ち上げ味噌づくりを手がけている若手グループの「企業組合ももは工房」へ。豆腐作りを体験したいと地元会員の参加者も増え、味噌の原料になる大豆を使って豆腐作りを体験。できたての豆腐と手作りお弁当を堪能し、有意義な2日間を終えました。来年は福岡県で開催される予定です。